

発行
千葉県立大多喜高等学校同窓会
 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481
 〒298-0216 TEL 0470-82-2621
 URL
<http://www.chiba-c.ed.jp/otaki-h/>
 E-mail otaki-h@chiba-c.ed.jp
 印刷 (株) サラト
 姫路市北条宮の町172番地
 TEL 079-284-1380



メキシコ大統領来訪(昭和53年)



70周年(昭和46年)



100周年
(平成12年)



校舎(昭和42年3月)



昭和40年代前半の登校風景(大多喜駅)



会報発刊によせて

同窓会長 齋藤 萬祐

大多喜高等学校同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清福にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃は、当会の活動・運営に関しまして、何かとご指導・ご協力賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。お蔭様で、多くの皆様方のご協力にて、高校創立110周年式典を開催することが出来ますことを、重ねて心より御礼申し上げます。

昨年の同窓会報の挨拶をしてみると総理大臣が替わったと書きましたが、この1年の間にまさか2人も国のトップが入れ替わるとは夢にも思いませんでした。何か政治に違和感を感じ、この国はどこに向かっているのか不安になります。

さて今年は37年ぶりに国体が千葉県で開催されます。全国から集まる選手達のすばらしい競技を間近で見ることができる絶好のチャンスです。皆様方もこの

機会にスポーツに関心を持ちご自身の体のためにも体を動かし、体力の向上をおはかりください。

会長挨拶を何回か書かせていただきましたが、思い起こせば平成4年に同窓会長に就任して早18年。この間母校大多喜高校は創立100、110周年記念事業を行い、大多喜女子高との統合という大きな動きがありました。平成の大合併も行われ呼び慣れた地区町名が変わってしまったということもありました。しかし、皆さん、母校や同窓生が私達にとって、如何に大きな存在であるかを認識し、また、同窓会会員が社会においてより一層、輝きを放っていただけることにより、一段と母校の輝きが増すものと思っております。是非本年の総会には多くの参加者がありますことを願っております。

最後に同窓会員の皆様方のご健康とご多幸を祈念申し上げます。挨拶といたします。



創立110周年にあたって

校長 加藤 茂範

同窓生の皆様には、日ごろから母校の教育活動に、御理解と御協力を賜りまして、心から感謝申し上げます。

本校は、明治33年（1900年）4月に、大多喜城趾に千葉県大多喜中学校として創立されました。

以来今日まで、一貫して夷隅郡市はもとより長生郡市や市原市等から勉学意欲あふれる生徒を受け入れてまいりました。

最近では、平成12年11月に創立100周年記念式典を挙行了しました。また、平成16年4月には、時代の要請や地域の実情を踏まえ、大多喜女子高等学校と統合し、新たなる「千葉県立大多喜高等学校」として、今日に至っております。

平成22年度は、創立以来110年が経過しますので、11月4日（木）に「記念式典」を挙行します。本年1月に同窓会、後援会、PTA三者合同の「創立110周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、鋭意準備を進めているところです。記念事業の内容は、記念式典と記念誌の発行が主となります。式典当日は、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉による演奏会も実施されます。

創立以来、平成21年度までの卒業生は、18,608名、大多喜女子高校関係分7,767名を合わせまして、26,375名を数えます。

創立110年を契機に、長く継承している本校教育理念の基調をなす「質実剛健」・「文武両道」の精神を大切にしながら、一層の飛躍・発展を目指します。そのために、本校にふさわしい教育内容を不断に検証し、改善していくことが、大切であると考えています。

本校職員は、一体となり将来の地域や日本を担う人材の育成を目指し、最善を尽くしているところです。

さて、生徒の在学期間は、原則3年間です。その間、一人ひとりが夢や目標に向かい努力した結果が、積み重ねられ伝統や実績となり学校の評価を形成します。今日までの大多喜高校に対する高い評価は、同窓生の皆さんが在学中に頑張っていたいただいた結果が対象となっています。

私は、生徒に「高校時代にしか出来ない過ごし方」を考え、それを継続して実践することの大切さを機会ある毎に話します。端的に言えば、「進学を可能とする勉強と部活動の両立」を目指す過ごし方です。ほぼ95%の生徒が進学を希望しています。学校はこの希望を叶えなければなりません。ただし、同時に部活動を行い体力を鍛え感性を磨き、更に先輩後輩との交流等を通し社会性を身につけ、自己を成長させることも大切です。部活動には85%を超える生徒が加入しています。

おそらく多くの同窓生の皆さんも高校時代は、「勉強と部活動の両立」が目標であったと思います。時代を超えて教育の目標の大半は不易なものです。

進路実績に関して言えば、生徒の多くは高校入学後、

学力の伸長度が大きいことが特徴として指摘出来ます。その要因は、生徒の真摯な努力は勿論ですが、週3回の希望者対象の7時間授業を取り入れた教育課程、夏期休業中の1・2年生の希望者を対象とした3泊4日の勉強合宿（栃木県那須高原で実施）、課外授業などの取り組みもそれを支えています。

平成22年度は、部活動での活躍も顕著です。剣道部女子団体及び卓球部男子ダブルス1組（3年唐木耀三君、石井一真君）が関東大会に出場しました。特筆すべきは、卓球部男子ダブルス1組（3年海老根純君、3年君塚俊君）が県総体で3位に入り、8月沖縄県で開催される全国総体に出場することです。関東大会の出場したメンバーとは、別の2人が全国大会に出場するという卓球部には、選手層の厚さがあります。美術部では、2年齋藤法子さんが千葉県代表として、8月宮崎県で開催される全国高校総合文化祭「美術・工芸部門」に絵画作品を出品します。なお、美術部は3年連続で全国大会に作品を出品しています。また、吹奏楽部は50名程の部員を擁し、今年は10回目の定期演奏会を開催するなどその存在感を高めています。マンドリン・ギター部は6月に、いすみ鉄道の列車内で演奏会を催し、多くの乗客に好評でした。

また、海外語学研修として夏期休業中15日間、9名の生徒がオーストラリアのアデレード市に立地するアンリー高校で学びます。この研修は平成10年度から始まり平成19年度から3ヵ年の中断はありましたが、この間120名の生徒が参加しました。校歌の一節にある「夷隅は遠く、世界を目指す」を体現するこの取り組みは、感性豊かな時期の異文化理解を促して、視野を拡大し貴重な体験になると思います。

以上の通り、多くの生徒は主体的・自主的に「文武両道」を実践しています。

終わりに、本校にとりまして、創立110周年の記念すべき年ではありますが、夷隅郡市を中心とした外房地域の児童生徒数の漸減傾向・いすみ鉄道の今後を含む交通アクセスの問題など本校を取り巻く外的要因は厳しいものがあります。

指導力があり熱意のある職員の多いことが、本校の強みであります。職員の意欲を引き出し、組織を有効に活用して学校運営を円滑に行っていく所存です。

今後とも、同窓生の皆様の母校への変わらぬ御協力を重ねてお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。





「大高」での2年間を振り返って

千葉県立大原高等学校長 江澤 利一 (前教頭)

2年前の3月29日、新任地となる大多喜高校で前任の教頭(現岬高校長 岡崎先生)と仕事の引継を終え、私は、国道128号を鴨川に向かってゆっくりと車を走らせていました。丁度雨上がりで、春の柔らかな心地よい陽光がウィンドウガラス越しに差し込み、路面の水溜まりはきらきらと輝いているようでした。

すると突然、直前の前方左側から黒っぽい大きな四足獣が道路を横切ろうとするのが見えたのです。私も、たまたま通りかかった対向車も、咄嗟にブレーキペダルを踏み、ほぼ同時に停止しました。「黒っぽい大きな四足獣」は、そう、イノシシだったのです。あっという間に一頭が駆け抜けると、さらに二頭目が続きました。そして何と三頭目も…。まさに猪突猛進という感じで、ダダダと右側の藪の中に消えて行きました。後続車はありませんでしたから、私は、しばし唖然としていましたが、間もなく気を取り直して、対向車の運転者と互いに苦笑いしながら、再びハンドルを握り帰路につきました。私は、その時、珍しいものを見ることができたといううれしさを味わうととも

に、大多喜高校でも、きっと楽しく気分よく仕事ができそうだという予感がしたのです。今にして思えば、実際その通りになりました。生徒や保護者の皆様、そして先生方にあらためて深く感謝いたします。

大多喜高校は、地域の急速な少子化、いすみ鉄道の存廃問題という2つの大きな課題を抱えています。これを乗り越えるためには、保護者・後援会・同窓会そして地域の方々との連携をさらに深めていかなければならないのですが、どのようにという点でまだまだいろいろと論じ試行していく余地があるように考えます。2年間の在任期間中、諸先輩方に比してさしたることもできなかった私ですが、それゆえの心残りもあり、敢えて触れさせていただきました。

さて、本稿は、「2年間を振り返って」というタイトルの割には、報告・提案もなく、我ながらつまらないエピソードに終始してしまった感があります。しかし、それも私の生来の性格であり、人間性であるとご容赦いただければ幸いです。

最後になりましたが、皆々様に篤くお礼を申し上げて、離任のご挨拶といたします。

支部・OB会だより

大多喜支部

日時 平成22年5月21日(金)
場所 大多喜町中央公民館

大多喜高校同窓会大多喜支部では、5月21日に大多喜町中央公民館において、定例総会を開催しました。同窓会長である齋藤萬祐県議会議員、後援会長の田嶋隆威前大多喜町長の他、加藤校長先生を来賓に迎え、平成21年度の事業報告、決算の承認の他、22年度の事業計画、予算(案)などの審議を行いました。

平成22年度の事業計画では、同窓会支部会員の親睦を深めるための事業や通学する生徒の足であるいすみ鉄道の存続のために、支部として側面から応援するための協力事業が盛り込まれ、全会一致で可決承認されました。

冒頭、挨拶に立った田辺弘一支部長は、「いすみ鉄道なくして

は、高校の存続にも影響する。支部としても、惜しめない協力をしたいので、会員のご支援をお願いしたい」と話されました。

また加藤校長先生は、学校の現況についてふれ、進学率については毎年平均して国公立の大学に合格している。スポーツ面では関東大会に、また文化面では全国に出場している。生活面でも問題行動はないと生徒たちを称賛されました。

大多喜高校では、本年、創立110周年を迎え、11月4日(木)に記念式典を計画しています。午前中に式典、午後には記念演奏会が予定されています。

同窓会大多喜支部では、母校の発展のために、できる限りの応援を惜しまず今後とも支援をして参りますので皆様のご協力をお願い申し上げます。

大多喜支部 親睦ゴルフ大会

日時 平成21年11月8日(日)
場所 御宿町のキャメルゴルフリゾート

千葉県立大多喜高校同窓会大多喜支部では、平成21年11月8日(日)に支部事業計画に基づき、親睦ゴルフ大会を御宿町のキャメルゴルフリゾートで開催しました。このゴルフ大会は、会員の親睦と融和を深めるために、平成16年度から行っているもので今回で第6回目となりました。

今大会には、現職の加藤校長先生をはじめ、一葉元校長先生など学校関係者が大勢参加下さり、大会を盛り上げて戴きました。

珍プレーや好プレーが続出する中、各プレーヤーは真剣に球の行方を追っていました。優勝を飾ったのは、いすみ市在住の高橋氏で優勝トロフィーを手中におさめました。またベストグロス賞では、バット、ショットともに好調だった一葉元校長先生が獲得されました。



女子高支部

日時 平成22年5月23日(日)
場所 旧大多喜女子高等学校跡地

女子高支部は5月23日に旧大多喜女子高跡地に同窓生の母校への思いを込めて記念碑を建立し除幕式を行いました。雨の中、来賓・恩師・同窓生とで80名の方々が集まりました。大高創立110周年記念実行委員長齋藤萬祐氏の挨拶、来賓の祝詞を頂き、記念碑の前で校歌を歌い、その後昼食を食べながら恩師と当時を偲びました。午後からの総会も終わり、「ミニうたごえ」の新井・赤羽両先生のリードで盛



り上がり、予定時刻を少しオーバーしましたが別れを惜しみつつ車上の人となりました。

女子高支部 稲村千代子



千葉大高会

日時 平成22年7月23日(金)
場所 三井ガーデンホテル千葉



平成22年度は、総会並びに懇親会を来賓・会員103名の参加を得て盛大に開催しました。総会では事業報告等が原案のとおり承認

され、懇親会では福山会長の挨拶に続き、来賓の猪口参議院議員・鳥塚いすみ鉄道社長・齋藤県議会議員(同窓会会長)・飯島大多喜町長からご挨拶、また、加藤校長から母校の近況報告を頂き、山口県議会議員のご発声により乾杯を行いました。その後には、歌謡ショーやよさこいソーランの舞踊もあり、おおいに盛り上がりました。また、地元大多喜町の豊乃鶴酒造の田嶋社長からは、地酒が振舞われました。最後に恒例の大高校歌を全員で声高らかに斉唱し、散会となりました。

卓球部OB会

大多喜高校卓球部の活躍と近隣中学生の強化を図る

大高卓友会(卓球部OB会)は、平成13年に発足し現在、酒井敏立(昭33卒)会長を中心に会員300余名で構成された組織であり、母校卓球部の限りなき発展を願い、会として支援活動を行うと共に、会員相互の親睦を深めることを目的に活動をしています。

昨年は、大多喜高校の現役員である女子が、団体千葉県代表として関東高等学校新人卓球大会に出場し、女子II部リーグで5位と健闘してくれました。又、本年は6月15日に行われた第63回千葉県高等学校総合体育大会において、男子ダブルスの海老根・君塚組が決勝リーグで3位となり、沖縄県で開催される全国大会に出場することとなりました。当会として大いに期待するところです。

大高卓友会の活動状況としては、現役員員の支援活動のほかに、夷隅郡市中学生の技術向上・強化を目指しており、昨年開催した講習会では、アトランタオリンピック日本代表チーム監督を務めた野平孝雄氏を講師に招き、講演や技術指導を行い関係者より好評を頂いております。

地域強化を図ることにより、近い将来に大多喜高校の生徒として卓球部の一員となり、部の発展に繋がればと思う次第です。

大高卓友会は今後も活発に活動をし、地域と共に大多喜高校の益々の繁栄を願い力を結集して行く所存ですので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

大高卓友会事務局 川崎照恭(昭48卒)



創立110周年記念事業について

本校は、明治33(1900)年4月30日千葉県大多喜中学校として創立されました。平成12(2000)年11月には、創立100周年記念式典を挙行いたしました。本年は110年の節目の年にあたり、同窓会、PTA、後援会が協力して創立110周

年記念事業実行委員会を設立し、計画して参りました。100周年後ということもあり、募金活動等は行わず、前記各団体会計から支出していただき、以下の事業を予定しています。

記念式典、記念演奏会[ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉]:平成22年11月4日(木)本校体育館。記念誌発行(100周年以降10年間のまとめとして)。

110th ANNIVERSARY

平成21年度 同窓会総会報告

平成21年度の総会は、平成21年10月25日(日)に、勝浦ホテル三日月にて出席者63名のもと開催されました。慎重審議の上、定例の議案について承認されました。以下に、20年度会計報告を掲載させていただきます。なお賛助金とは、皆様方から1口1,000円で集めております任意の同窓会報発行維持費と広告料を合わせたものです。



平成20年度同窓会決算報告書

● 一般会計

1 収入支出対照表

平成21年3月31日現在

本年度収入総額	本年度支出総額	本年度残額	説明
7,049,919円	2,549,995円	4,499,924円	翌年度へ繰越

2 収入の部

科目	予算額	決算額	比較		説明
			増	減	
繰越金	4,044,592円	4,044,592円	0円	0円	平成19年度繰越金
会費	0円	0円	0円	0円	
入会金	1,165,000円	1,165,000円	0円	0円	5,000円×233名
賛助金	2,000,000円	1,836,400円	0円	163,600円	同窓会報発行賛助金
雑収入	500円	3,927円	3,427円	0円	預金利息
計	7,210,092円	7,049,919円	3,427円	163,600円	

3 支出の部

科目	予算額	決算額	比較		説明
			増	減	
会議費	250,000円	103,774円	0円	146,226円	総会補助、役員会費
運営費	150,000円	12,058円	0円	137,942円	事務費、通信費
活動費	600,000円	692,320円	92,320円	0円	支部活動費、旅費等
広報費	2,000,000円	1,741,843円	0円	258,157円	同窓会報発行代
雑費	80,000円	0円	0円	80,000円	慶弔費
予備費	4,130,092円	0円	0円	4,130,092円	
計	7,210,092円	2,549,995円	92,320円	4,752,417円	

● 特別会計

1 収入支出対照表

本年度収入総額	本年度支出総額	本年度残額	説明
4,790,865円	0円	4,790,865円	翌年度へ繰越

2 収入の部

科目	予算額	決算額	比較(減△)	説明
繰越金	4,784,545円	4,784,545円	0円	平成19年度繰越金
雑収入	2,000円	6,320円	4,320円	預金利息
計	4,786,545円	4,790,865円	4,320円	

3 支出の部

科目	予算額	決算額	比較(減△)	説明
予備費	4,786,545円	0円	4,786,545円	
計	4,786,545円	0円	4,786,545円	



いすみ鉄道 存続決定

本校生徒の約半数が利用しているいすみ鉄道が2年間の検証期間を経て、平成22年8月6日に存続が決定しました。少子化の影響もあり、年々乗車人員が減少するなど厳しい状況にありました。

いすみ鉄道の存廃が8年前に問題となり始めて以来、生徒会やいすみ鉄道対策委員会などで様々な取り組みを始めました。今までに、吹奏楽部、マンドリン・ギター部、演劇部、美術部、社会部、野球部、山岳部などが、

ボランティア活動などに協力してくれました。本校の活動は、新聞やテレビ、インターネットをはじめ多くの人々に紹介されてきました。

存続したからといって安心してはならないと思います。今までの活動を継続し、またより活性化できるように取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



地域政策フォーラム
(H16.3.21)



いすみ鉄道乗車勉強会
(H18.2.4)



小谷松駅ペンキ塗り
(H18.7.24)



上総中川駅駅名板
(H18.10.24)



菜の花の種まき
(H19.10.7)



クリスマストレイン
(H19.12.25)



第1回マンドリン・ギター列車
(H20.6.14)



第3回走る演劇列車
(H21.2.8)



ムーミン列車出発式
(H21.10.1)



第9回中高生いすみ鉄道存続プロジェクト会議
(H21.12.15)



いすみ鉄道車両清掃
(H22.3.15)



第33回明善祭 いすみ鉄道についての展示
(H22.6.26)

●月1回、大多喜・小谷松・東総元・総元駅の清掃を実施しています。

会報14号発行にあたって

いすみ鉄道の存廃の結果を経てから、本紙の発行といたしました。例年より発行が遅くなりましたことをご詫びいたします。

部活動状況 平成21年7月から22年6月

主な結果 ㉑-21年度 ㉒-22年度
 新一新人大会 関-関東大会千葉県大会 総-県総合体育大会

卓球部

- ㉑新 女子団体4位 (関東大会出場)
- ㉒関 男子ダブルス3位 唐木耀三・石井一真 (関東大会出場)
- ㉒関 女子団体4位
- ㉒総 男子ダブルス3位 海老根純・君塚俊 (全国高校総体出場)
- ㉒総 女子団体3位



剣道部

- ㉒関 女子団体6位 (関東大会出場)
- ㉒総 男子個人3位 福永将



美術部

- ㉒全国高等学校総合文化祭出展 美術・工芸部門 齋藤法子



		男	女	計
体育系部活動	柔道	10	0	10
	剣道	21	12	33
	水泳	0	1	1
	陸上競技	9	23	32
	弓道	30	27	57
	野球	41	3	44
	ソフトテニス	15	16	31
	バレーボール	10	14	24
	バスケットボール	8	16	24
	サッカー	28	3	31
卓球	18	10	28	
文化系部活動	生物	0	7	7
	美術	4	15	19
	書道	0	9	9
	マンドリン・ギター	13	8	21
	コンピュータ	0	2	2
	文芸	4	8	12
	演劇	6	3	9
	英語	1	5	6
	社会	0	2	2
	吹奏楽	9	40	49
茶道	0	17	17	
同好会	華道	0	5	5
	コーラス	5	3	8
	料理	0	27	27
合計		232	276	508

21年度進路状況報告 進路指導主事 丸 健一

22年度センター試験は、関係業界の当初予想に反して難易度が高かったため、平均点がダウンしました。これに景気低迷という社会要因も加わり、受験生の安全志向が一層強まりました。難関大学が敬遠され、それに続く大学へと受験生が流れ、地方の国公立大学の人気が高まりました。私立大学においても中堅大学への人気が集中して狭き門となるなど、本校生徒にも少なからず影響があったように思われます。また、就職状況を踏まえた資格志向が高まりを見せ、教育系や保健衛生系などが人気となり、この傾向は今後とも続くことが予想されます。

さて、本校の卒業生の進路状況について御報告申し上げます。大学・短大への進学者は69.9%。これに専門学校への進学者を加えると、85.5%となります。今年度は浪人を選択した者が16名(8.3%)おり、昨年の28名(12.0%)より減少しています。ところで、AO入試が多くの大学で行われるようになったため、受験の機会が増え、受験生にとっては喜ばしい状況を迎えています。しかしながら、第1志望校として考えている大学のAO入試は大いに利用すべきですが、中には学生集めに躍起になるあまり、オープンキャンパスへの参加者に対し、ほとんど名前を書いただけで合格という対応をする大学もあり、注意が必要です。本校においても、AO入試・公募推薦及び自己推薦によって大学・短大へ入学した者は、34名(17.6%)に上っています。これに指定校推薦で入学した34名(17.6%)を加えると68名となり、大学・短大進学者135名の半数(50.4%)にまで広がりをみせており、こうした状況は、今後ますます増加する傾向にあります。センター試験をはじめとする一般入試をまだまだ後に控えている残り半数の生徒たちの受験勉強が日を追って佳境に入っていく中で、すでに合格を決定した生徒たちが浮かれているようであるとはなりません。そうした生徒たちが卒業までの期間、気を緩めることなく、高校生としての学力をしっかりと身に付けていけるように指導することが重要課題となって参りました。

最後に、昨年度の本校の進路指導の概要を紹介します。

- (1) 進路説明会〈各学年別日程〉
外部講師による分野別(大学・短大・専門学校・就職など)進路説明
- (2) 予備校「夏期・秋期・センター直前講座」出前授業
受験対策としての大手予備校講師による授業(PTA主催)
- (3) 大学見学会(バス)
Aコース(早稲田大学・千葉大学)
Bコース(東京理科大学・立教大学)

- (4) 進路講演会
講演Ⅰ (株)タムラ電気社長 田村 哲子 氏(昭45高)
「卒業してから40年、常に挑戦！」
講演Ⅱ 演劇(進路ディスカッション)
「進路を失敗する人にありがちなこと10」他
- (5) 大学出張講義体験会
千葉大・東京成徳大・聖徳大・専修大・日本大・杏林大・女子栄養大・国際武道大より講師を依頼
- (6) 保護者進路説明会
講演 駿台千葉校舎長 豊田 基行氏
「最近の入試事情と受験対策について」
- (7) 進路報告会
卒業生の体験談ほか

このほか、模擬テストの推進や進路指導支援ソフトの利用など、生徒の進路に対する意識の高揚を図るさまざまな取組を行っています。

- 平成21年度卒業生合格先**
〔四年制大学〕
 筑波大 東京農工大 宇都宮大 山形大 上越教育大 千葉県保健医療大 都留文化大 明治大 東京理科大学 青山学院大 法政大 中央大 学習院大 明治学院大 國學院大 専修大 東洋大 日本大 東京農大 芝浦工大 玉川大 東邦大 文教大 神奈川大 順天堂大 大東文化大 帝京大 亜細亜大 獨協大 昭和女子大 多摩美大 神田外語大 千葉工大 淑徳大など
- 〔短期大学〕**
 青山学院女子短大 共立女子短大 千葉敬愛短大など

- 卒業生合格先**
〔四年制大学〕
 大阪大 東京学芸大 電気通信大 秋田県立大 慶応義塾大 明治大 青山学院大 法政大 成城大 立命館大 芝浦工大など

平成21年度(平成22年3月)卒業生の進路状況

種別 性別	大学		短学		専門 各種学校	就職		家事 従事	その他	合計
	国立	私立	国立	私立		民間	公務員			
男	6	65	0	0	9	4	0	0	13	97
女	2	52	0	10	21	4	2	0	5	96
計	8	117	0	10	30	8	2	0	18	193

同窓生の声



郵便局にかけた人生

高梨 園子 (昭40高)

皆さんに親しまれている郵便局。全国津々浦々にそのネットワークがあり地域に密着した事業を行っています。私はその郵便局で定年まで無事務めることができました。

人生には多くのドラマがあるといわれますが、今回、私が郵便局でのドラマの一端を披露します。

(県庁時代)

私は長い間、千葉県庁内郵便局に勤務し、日常業務に加えて、職場改善をはじめ、環境の向上や男女雇用機会均等法、育児休業法などの制定へ向けて活動をしました。一方では、スピーディな各種改善などのキーマンとなる労働組合の執行役員になるなど多方面の仕事をこなしていました。

当時、女性組合役員の先がけだったことから、世界女性会議（ノルウェーで開催）に日本代表として、私はとても光栄を感じながら参加しました。

その後、私にとって最初の人生の選択の機会を得ました。それは、千葉県水道局の料金の自動払い込みの事業に関わったことです。私がこの事業を進める中で、局内で折衝力や人脈等に非常に関心を持たれ、結果的にそれが評価につながり、39歳で千葉中央郵便局の広報担当として異動になったのです。

(千葉中央郵便局時代)

千葉中央郵便局は、今までの特定局と違い、当時は関東一の大局であり、930名と600名の非常勤職員が働く職場で、未知の世界に飛び込んだという不安でいっぱいでした。しかし、私はここでオンリーワンの足跡を残すべく、広報の重要性から「郵便局だより」の紙面改革に着手し、1年後に「最優秀賞」を受賞するまでに評価されました。さらに、新機軸として、千葉中央郵便局では過去に実施したことのない「定例記者会見」を実施し、郵便局から県民の皆様へ情報発信する機会を設けました。このことでさらに郵便局に対する理解が深まったと思います。

一方では、かねてから私が温めていた「郵便局の新しい在り方」という内容の郵政事業論文が入賞するなど、少しずつ私のフィールドが広がりを見せはじめました。

(特定郵便局時代)

皆さんもそうかもしれませんが、長い人生で何度となく転機が訪れると思いますが、私にとって第2の転機が訪れました。それが特定郵便局長の就任であり、45歳でした。

私の郵便局生活の中でこの局での仕事が一番苦勞し、また、

やりがいのあった職場でした。ですから、今でも一番思い出が深く刻まれています。

さて、「郵便局の新しい在り方」が入賞し、その提案を実践する機会が与えられたのです。私は驚きました。こんなことが現実にあるのだろうか。でも、まぎれもなく現実でした。しかも、課題の多い郵便局の着任とあって多方面から私は注目を浴びました。しかし、私は持って生まれた明るさとポジティブな性格から、「ピンチはチャンス！ 為せば成る！」とばかりに、やりがいの宝庫を1つずつ磨く楽しみが膨らんだことはいうまでもありません。

具体的には、お客様の声、職員との対話を基本に職場環境など、ハード面と適切なお客様対応の職員育成などのソフト両面から次々と改善に取り組みました。その後約2カ月で成果が見えはじめ、経営管理上からも1年で全事業全種が目標達成に至ったのです。

また、他方面では「地域を何とか活性化させたい」と願う住民と共に、「女性の為のわかりやすい節税教室」など、生活に密着したテーマのカルチャー教室を開催したところ、予想以上に好評となり、さらなるリクエストがあり、今度は老人と児童による「ゲートボール大会」「交通安全キャンペーン」や「夏休みゲーム大会」など、とても従来の郵便局ではやったことのないイベントを地域住民と行うことで、完全に市民権を得ることができました。

各種イベントも回を重ねることにより、毎回、参加者が増え、まさしく住民同士のふれあい、親子や老若男女の交流が深まり、当初の目標であった「活力ある地域づくり」に役だったのです。

驚くべきイベントの効果ですが、一番の成果は、このようなイベントが終わった後、子供たちが自主的にゴミの片付けなどを行ったことです。住民自らの手で創るイベントに成長したのです。まさに主役は地域の人たち。私のいる郵便局はその橋渡し役、仕掛人としてきちんと受け止めていただいていると思っています。地域住民の力強いご支援や職員の努力で広告宣伝コンクールイベント部門で3年連続金賞受賞の他、連年事業表彰に輝きました。このように各賞をいただいたことにより職員のモチベーションも上がってまいりました。

また、地元ふるさと球団へのファン拡大支援策として、千葉ロッテのバレンタイン監督就任時に学校と球場をつなごうと、「入学祝いレタックス」を提案し実現しました。今年、西村監督から入学式にメッセージが届けられ15年目となります。

このように、私は、既成概念にとらわれず、常に新しいことにチャレンジし、目標を達成してまいりました。

小さな成功体験の積み重ねは、多くの感動や大きなやりがいを得、充実した同局での6年間となりました。

「ピンチはチャンス！ 為せば成る！」を座右に、常に明るく元気に前進すれば目標は必ず達成できると信じています。ネバーギブアップ!!

ドラマの続きは、機会がありましたら、その時まで…。

トピックス

進路講演会で田村哲子さん(昭和45年卒)が講演を行う

「卒業してから40年、常に挑戦!」と題して平成21年9月18日に本校第一体育館で1・2年生に進路講演会を行っていただきました。実体験を熱くお話しくださいました。



来年度(平成23年度)から募集定員1クラス減

地域の生徒減少のため、平成19年度から1クラス減の5クラス募集でしたが、平成23年度からは、さらに1クラス減の4クラス募集(募集定員 普通科160名)になります。

事務局だよ!

●平成21年度 年度末人事異動について

年度末の人事異動で、次の方々が退任・転任されました。

《退任された先生方》

- 粕谷 幸子 (事務長) 平成21年より1年間
- 佐々木裕二 (理科) 平成18年より4年間 (22年度茂原樟陽高校再任用)
- 田代 栄二 (体育) 平成12年より10年間 (22年度松尾高校再任用)
- 岡田 充 (社会) 平成20年より2年間(再任用終了)
- 遠藤 俊男 (国語) 平成21年より1年間(非常勤)
- 矢澤喜久雄 (英語) 平成21年より1年間(非常勤)
- Terrence 平成19年より3年間(外国語指導助手)

《転任された先生方》

- 江澤 利一 (教頭) 平成20年より2年間、大原高校校長へ
- 丸 ひさ子 (家庭) 平成12年より10年間、茂原樟陽高校へ
- 石井美由紀 (音楽) 平成19年より3年間、行徳高校へ
- 福島智恵子 (事務) 平成18年より4年間、市原高校へ
- 遠藤 眞澄 (社会) 平成20年より2年間、勝浦若潮高校へ(再任用)
- 菅根 彰宏 (数学) 平成21年より1年間、茂原樟陽高校へ(臨時任用)

●異動連絡のお願い

住所等の異動の折には郵便はがきなどで同窓会事務局にご連絡ください。同窓会関係の郵便物が宛先不明で返送されますと会員名簿上での住所は空欄となります。同窓会事務局では少しでも正確な情報を把握しておきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

●原稿募集のお願い

同期会・クラス会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載しますので、ご連絡をお願い致します。また、同窓生の皆様からの寄稿をお待ちしています。あるいは、原稿をお願いできる方をご推薦ください。

●会報維持費のお願い

第6号より年1回の定期的発行となり、皆様方から会報維持費として1口千円でご協力をお願いしております。昨年は、790人の方々から1,565,520円の維持費(振込額から料金を差し引いた金額)が送られて来ました。本当にありがとうございました。1号発行するためには、約180万円かかります。会報の発行は皆様の会報維持費と広告料で成り立つものです。是非とも賛助金のご協力をお願い致します。

●振り込め詐欺被害にご注意ください

勝浦警察署から担当者が来校され、同窓生の親御さん、特に50歳から70歳前後の方が被害に遭われているとのことでした。

●個人情報について

個人情報についてですが、同窓会員の情報は(株)サウトにて一括管理されています。これは、会報の発行や名簿作成のためです。それ以外の使用は一切行っておりませんのでご承知ください。

●役員名簿

会 長	齋藤 萬祐 (昭32高)	
副 会 長	山口 登 (昭37高)	
	福山 悦男 (昭29高)	
	近藤 万芳 (昭32高)	
	太田 洋 (昭41高)	
	櫻井 榮子 (昭29女)	
	稲村千代子 (昭35女)	
監 事 (会計監査)	酒井 太門 (昭41高)	
	渡辺 雅文 (昭43高)	
顧 問	小高 芳男 (昭22中)	
支 部 長	大多喜	田辺 弘一 (昭34高)
	大 原	五十嵐一郎 (昭7中)
	勝 浦	岩瀬 義信 (昭34高)
	茂 原	伊藤 俊平 (昭29高)
	千 葉 (千葉大高会)	福山 悦男 (昭29高)
	岬	渡辺 正紘 (昭40高)
	女子高	稲村千代子 (昭35女)

【支部長は各支部で選出していただいています。】

平成22年度 同窓会総会・懇親会のお知らせ

日時 10月31日(日) 午前11時20分～

場所 勝浦ホテル三日月

会費 男性7,000円 女性5,000円

お問い合わせ、お申し込みは、下記までお願い致します。

TEL 0470-82-2621 (大多喜高校内・同窓会事務局)

